第２部
岩手のくらし

第７章
歴史・文化

～豊かな歴史や文化を受け継ぎ、
愛着や誇りを育んでいる岩手～

世界遺産登録件数は国内最多

■　世界遺産を守り将来に伝えていくための取組等については６割台後半が重要と回答

令和７年県の施策に関する県民意識調査によると、「世界遺産を守り将来に伝えていくための取組が行われていること」について、重要（「重要」＋「やや重要」）と回答した人の割合は、県計で69.1％となっています（図１）。満足度については、満足（「満足」＋「やや満足」）と回答した人の割合は、県計で25.9％となっており、不満（「不満」＋「やや不満」）の8.9％を上回っています（図２）。

また、「豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境であること」について、重要（「重要」＋「やや重要」）と回答した人の割合は、県計で70.9％となっています（図３）。満足度については、満足（「満足」＋「やや満足」）と回答した人の割合は、県計で23.3％となっており、不満（「不満」＋「やや不満」）の12.7％を上回っています（図４）。

■　世界遺産登録件数は国内最多

令和６年（2024年）７月現在の世界遺産登録件数をみると、本県は、平成23年（2011年）に登録された「平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群－」、平成27年（2015年）に登録された釜石市の橋野鉄鉱山を含む「明治日本の産業革命遺産　製鉄・製鋼、造船、石炭産業」、令和３年（2021年）に登録された一戸町の御所野遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の３件の文化遺産を有しており、奈良県、鹿児島県と並び国内最多です（図５）。

■　民俗文化財指定件数は全国平均を上回る

令和８年（2026年）１月１日現在の国宝・重要文化財指定件数をみると、本県は81件と全国31位となっており、東北では山形県（102件）、福島県（100件）に次ぐ件数となっています（図６）。

また、令和８年１月１日現在の民俗文化財指定件数（重要有形民俗文化財と重要無形民俗文化財の合計）をみると、本県は17件と全国で６番目となっており、全国平均（11.9件）を上回っています（図７）。

図1　世界遺産の保存及び理解増進の取組（重要度）

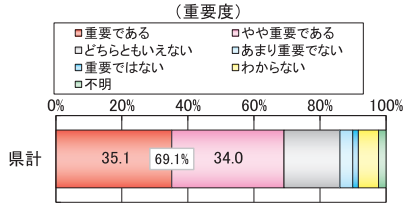


図2　世界遺産の保存及び理解増進の取組（満足度）

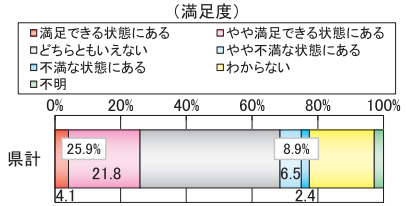


図3　伝統文化が受け継がれる環境（重要度）

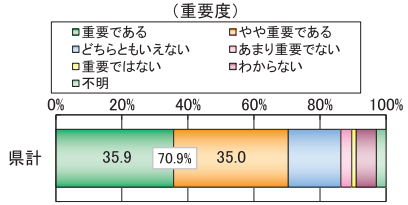
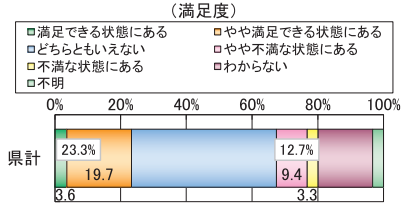
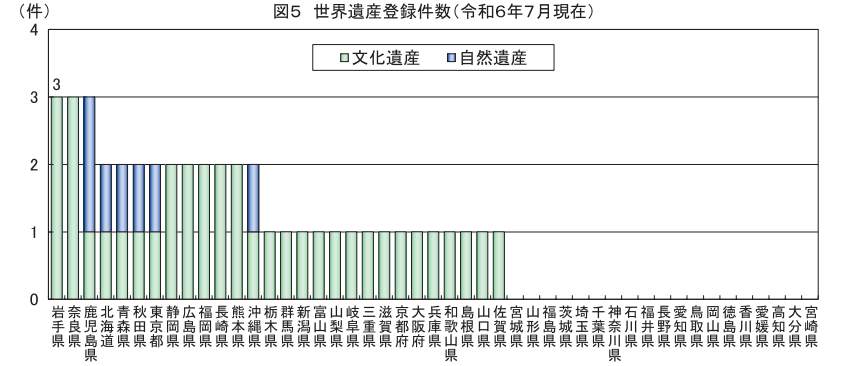


図4　伝統文化が受け継がれる環境（満足度）



以上資料：県ふるさと振興部「令和７年県の施策に関する県民意識調査」

図5　世界遺産登録件数（令和6年7月現在）



※　複数の都道府県に係る世界遺産については、それぞれの都道府県において１件とカウント。

資料：文化庁

図6　国宝・重要文化財指定件数（令和8年1月1日現在）

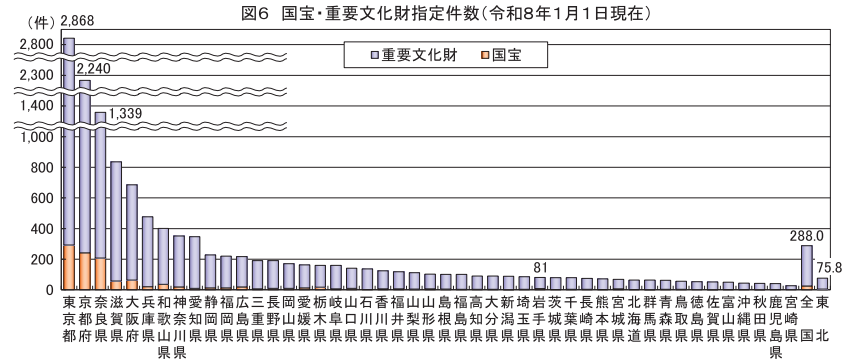
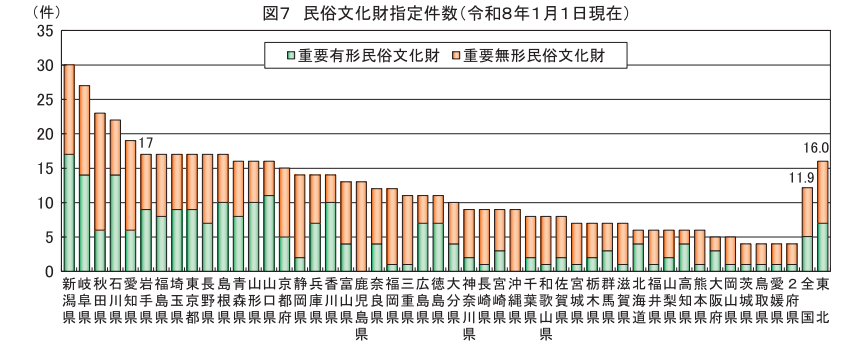


図7　民俗文化財指定件数（令和8年1月1日現在）



※　２府県　重要有形民俗文化財…「生駒十三峠の十三塚」（奈良・大阪）
重要無形民俗文化財…「室根神社のマツリバ行事」（岩手・宮城）
重要無形民俗文化財…「豊前神楽」（福岡・大分）
重要無形民俗文化財…「因幡・但馬の麒麟獅子舞」（鳥取・兵庫）

以上資料：文化庁「文化財指定等の件数」